

2018年度 学力試験問題

国 語

「指定校特待生推薦入試(A日程)」

「自己推薦特待生入試(A日程)」

2017年10月18日(水)実施

志望学部・学科		受験番号	フリガナ	
学部	学科	番	氏 名	

芦屋大学

国語問題

平成29年10月18日実施

解答はすべて丁寧にわかりやすく書くこと。判読しづらい文字や数字があった場合はすべて不正解とする。

【問題一】 次の各問に答えなさい。解答は全て解答用紙の解答欄に記入すること。

(配点40点)

問一 次のカタカナの部分の漢字に直しなさい。答は楷書で解答欄に記すこと。

1. 増税にビンジョウして値上げをした。
2. この辺にザッカ屋さんはありませんか。
3. 大きなヤシキに住んでいる。
4. あの人が私に空手を教えてくれたシショウです。
5. クジラが潮を吹く。

問二 次の傍線部の漢字の読みを答えなさい。答は平仮名で解答欄に記すこと。

1. 悪の権化と戦う。
2. 一番乗りを企てる。
3. 胸高に帯を締める。
4. 仏教に帰依する。
5. 領収書に拾万円と書く。

問三 次の□の中に入る漢字で、他と異なるものを1つ選び番号で答えなさい。

- ① 孟母□遷 ② □寒四温 ③ □拝九拜 ④ □紫水明

問四 次の四字熟語で間違っているものの教を選択肢の中から1つ選び番号で答えなさい。

- ア 暗中摸索
イ 異口同音
ウ 一発即発
エ 意味深調
オ 花鳥風月

- ① 一っ ② 二っ ③ 三っ ④ 四っ

問五 次の慣用句とその意味の組み合わせで間違っているものを選択肢の中から1つ選び番号で答えなさい。

- | | | |
|-----------|--|------------|
| ① つぼにはまる | | 見こみ通りになること |
| ② 命あつての物種 | | 命が一番大切だ |
| ③ 雨後の筈 | | 次々に現れること |
| ④ ほぞを固める | | 心を鬼にすること |

問六 次の慣用句で間違っているもの数を、選択肢の中から1つ選び番号で答えなさい。

- ア 釈迦に説法
- イ 岡目八目
- ウ 三人寄れば文殊の知恵
- エ 怪我の功名
- オ あごが抜ける

- ① 一つ
- ② 二つ
- ③ 三つ
- ④ 四つ

問七 次の漢字の部首として正しいものを選択肢の中から1つ選び番号で答えなさい。

某

- ① 一
- ② 廿
- ③ 木
- ④ 日

問八 次の対義語で間違っているものを選択肢の中から1つ選び番号で答えなさい。

- | | | |
|------|--|----|
| ① 協力 | | 妨害 |
| ② 逮捕 | | 逃走 |
| ③ 開始 | | 終了 |
| ④ 平凡 | | 非凡 |

問九 次の傍線部の意味はどれか。選択肢の中から1つ選び番号で答えなさい。

あの姫は、どちらの船に乗られるのだろうか。

- ① 受身
- ② 可能
- ③ 自発
- ④ 尊敬

問十 次の傍線部の品詞は何か。選択肢の中から1つ選び番号で答えなさい。

このあいだ、お話しした案件についてご感想をお聞かせください。

- ①名詞 ②副詞 ③感動詞 ④接続詞

問十一 次の説明文の作者を、選択肢の中から1つ選び番号で答えなさい。

1931年、東京生まれ。詩人。詩集『二十億光年の孤独』を刊行以来、詩やエッセー、翻訳、脚本など幅広く活動する。本『かずのえほん いくつかかな?』など

- ①安野光雅
②太宰治
③谷川俊一郎
④芥川龍之介

問十二 次の組み合わせで間違っているものを選択肢の中から1つ選び番号で答えなさい。

- | | | |
|----------|--|----------|
| ①にんじん | | ルナール |
| ②レ・ミゼラブル | | ユーゴー |
| ③罪と罰 | | ドフトエフスキー |
| ④老人と海 | | O・ヘンリー |

【問題二】 次の文章をよく読み、後の各問に答えなさい。解答は全て解答题紙の解答欄に記入すること。（配点36点）

現在、デジタルヒューマニティーズ（注1、以降DH）はわが国でも注目を集め、多くの分野で流行語になっていると言っている。しかし、少なくとも文学研究にかぎった場合、研究者のあいだでもそのイメージはかなり限定されているのではないか。△A▽

おそらく、現状日本で想像されているのは、資料のデジタル化にともなうアクセスの利便性向上や、電子テキストからなる拡大したコーパス（注2）を利用した研究などだろうか。技術の進歩はもちろん、研究の発展におおいに寄与することだろう。△I▽

しかし、こうした流れは、いままですすめられてきたデータベース化や電子化から大きく外れることはないとも言える。利便性はさらに推しすすめられるだろうが、「文学研究」そのものの性質を劇的に変えてしまうとは言いがたい。畢竟、内容についての吟味や情報交換も専門家で盛んにされているとは言えない現状がある。現在、日本では、少なくともある程度の規模の文学研究系の学会で、本格的にDHを用いた研究発表や論文投稿はほとんどおこなわれていないのではないか。

△A▽、北米でのDHの受けとめ方は、様々な点で上記のような日本での認識と大きな隔たりがあると言わざるをえない。現に、米国の学会に参加してみると、DHの波をひしひしと感じることができる。著者が比較的よく顔をだすアメリカ比較文学会やスラブ・東欧・ユーラシア学会の年次大会でも、DH関連のパネルを見ないことはない。手元にある調査によると文学系としては全米最大（そしておそらく世界最大）規模の学会MLA（米国現代語学文学協会）におけるDH関連のパネルは、二〇一〇年の二七、二〇一一年の四四、二〇一二年の五七と増加しているという。△U▽

もちろん、著名な学会誌や学術誌にもDH的なアプローチを用いた論文が掲載されるし、デューク大学の刊行するdifferencesのようにDHの特集を組み、その是非や功罪について議論することもあれば（二〇一四年二五巻一号）、DH専門のオンライン・ジャーナルもすでに何誌か創巻されている。△E▽

すでに米国では、DHは文学研究の分野でも「徘徊する一匹の妖怪」たりえているわけだが、日本との差は単に量的な次元にとどまらない。質的な面でも、デジタルアーカイヴにかぎらない多様なアプローチの研究がおこなわれるようになっていく。その多くが人間が到底あつかいきれないような膨大なテキストと、プログラムによる処理の組みあわせからなっている。

なかでも目につくものに「単純ベイズ分類器」を用いたテキスト分析がある。単純ベイズ分類器とは、スパムメールをふりわけけるプログラムにも使われているもので、テキスト内の単語を抽出し、傾向や頻度からその種類を確率で分類するものだ。スパムメールの場合なら、広告に関連するような単語がテキスト内に多ければ、確率的に判断してそのようにふりわけてくれるわけだ。興味深いのは、これをコンピュータ上で動かした場合、人間がある程度の方向性を与えてやることで、機械学習がおこなえる点だ。スパムメールの場合、最初にそれぞれのサンプルを一定数与えてやることで、自動的にテキストを分析し、スパムメールに含まれる確率の高い単語、低い単語を学習できるわけだ。こういった単純ベイズ分類器の確度がいかに高いかは、毎日膨大なメールを処理している人間なら誰しも知っているだろう。もちろん稀にまちがえることもあるが、そのときは手動で「迷惑メールではない」を選んでもどしてやることで、さらにプログラムはあやまちから学ぶのだ。

さて、これが文学研究に組み合わせられるとどうなるか。实例をあげてみよう。シカゴ大学リテラリー・ラボのホイット・ロングとリチャード・ジーン・ソウによる論文「文学パターン認識——精読と機械学習のはざまのモダニズム」（二〇一六）は、「ハイク」の分析に「単純ベイズ分類器」を用いている。英米圏では二〇世紀初頭、ジャポニズムの影響もあり、ハイクが詩壇で流行していた。かのエズラ・パウンドが、日本の俳句の翻訳からイマジズム運動を起こしたのは有名な事実である。しかしハイクといっても、日本の俳句と異なり、外国語のハイクは五・七・五でもなければ、 $\wedge B \vee$ もない定義が難しいものでもある。著者は一九一〇年代〜二〇年代の文芸誌から、ハイクとそれ以外のさまざまな流派に属する一九〇〇の短詩を収集し、分類器にかけた。するとアルゴリズムは *cold* や *snow* など、ハイクに多く含まれる単語を認識し、約九十パーセントの正確さでハイクをハイクと認識できたというのだ。

それだけではない。もちろんそれなりの数のまちがいが出てくるわけだが、そういった「あやまち」からさえ学ぶことができる。つまり、ハイクではないが、ハイクに影響された詩や東洋趣味の詩をアルゴリズムは選びだすことができるのだ。論文の著者は単純ベイズ分類器は「文体の「繊細な」読者」だということが判明したと結論している。

こういったアプローチが興味深いのは、専門家が長い訓練をへて「精読」のすえに達する判断レベルに、プログラムがごく短期間に達し、さらに専門家がなかなか言語化できないその基準を可視化するだけでなく、むしろ「ハイクとはなにか」という問いについて思いもつかなかった洞察をもたらすことさえあるからだ。 $\wedge C \vee$

(注)

1 デジタルヒューマニティーズ コンピュータと人文科学（ヒューマニティーズ）の境界に位置して調査・研究・教育などを行う分野。

2 コーパス 言語を分析するための基礎資料として、書き言葉や話し言葉の資料を体系的に収集し、研究用の情報を付与したもの。

問一 問題の文章中には例のような同音異義語あるいは同訓異字の漢字間違いが1箇所ある。その間違いを指摘し正しい漢字に直しなさい。

- | | | | | | | |
|----|------------|---|----|---|---|----|
| 例1 | 大臣の職を自認する。 | Ⓐ | 自認 | ↓ | Ⓐ | 辞任 |
| 例2 | 有名人を排出する。 | Ⓑ | 排出 | ↓ | Ⓑ | 輩出 |
| 例3 | 事務を取る。 | Ⓒ | 取る | ↓ | Ⓒ | 執る |

問二 次の文章は本文中の△▽◇の記号で答えなさい。
△▽◇の記号で答えなさい。

入る文章

△◇について100本以上の発表がおこなわれている計算になる。▽

問三 傍線部1△畢竟▽とあるが、その語を使用した次の5つの例文のうち、誤った使い方はいくつあるか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ・そして彼は、動物に対する感情の相違は畢竟民族の問題であると喝破した。
- ・してみると、浦島の伝説は、畢竟あれは、百万人の人間の心の伝説なのだ。
- ・今にして思えば、これを選ばせたものは、畢竟彼の身体の弱さであつたらう。
- ・しかしながら芸術を生活の中に持つことは畢竟至難の業である。
- ・けれども門野の答えは畢竟前と同じことを繰り返すのみであつた。

- ① 使い方を誤った例文は三つ
- ② 使い方を誤った例文は二つ
- ③ 使い方を誤った例文は一つ
- ④ 使い方を誤った例文はない(すべて正しい)

問四 本文中△▽に入る語句として最も適切なものを次の選択肢の中から1つ選び、番号で答えなさい。

- ① 当然
- ② 他方で
- ③ すなわち
- ④ だから

問五 傍線部2^徘徊する一匹の妖怪Vとあるが、その説明として正しいのはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ①流行はしているが、それは一過性であると思われるもの
- ②あまりにも巨大になりすぎたため研究者に警戒心を抱かせるもの
- ③一種の流行のように盛んに研究され、影響力が増しているもの
- ④文学研究を越え、他の研究領域を侵犯する迷惑なもの

問六 傍線部3^単純ベイズ分類器Vとあるが、その説明として間違っているものどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ①このプログラムにより、人間もスパムメールに含まれる確率の高い単語を機械的に学習できる。
- ②スパムメールをふりわけけるプログラムにも使われているもので、テキスト内の単語を抽出し、傾向や頻度からその種類を確率で分類するもの。
- ③スパムメールの場合、最初にそれぞれのサンプルをある程度与えることで、自動的にテキストを分析することができる。
- ④稀にまちがえることもあるが、そのときには手動で「迷惑メールではない」を選んで戻してやることでプログラムはあやまちから学ぶ。

問七 本文中^B^Vに入る語句として正しいのはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ①七・七
- ②敬語
- ③季語
- ④枕詞

問八 傍線部4^それなりの数のまちがいVとあるが、その説明として間違っているものどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ①coldを雪、snowを冷たい、などと誤訳するような翻訳をするときのまちがい
- ②ハイクをそうではないと誤認したり、ハイクでないものをハイクと誤認したりするまちがい
- ③本来は一九一〇年代〜二〇年代に作られたハイクを現代のハイクと誤認するまちがい
- ④本来は東洋趣味であるハイクを西洋趣味のものと誤認してしまうまちがい

問九 本文中「A C V」に入る文章として正しいのはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ①つまり、コンピュータプログラムは文学研究者が長い訓練を経て「精読」のすえに達する洞察に短期間に達しうる。
- ②つまり、コンピュータプログラムは文学研究者がなかなか言語化できなかった洞察レベルを、いとも簡単に可視化することができる。
- ③つまり、コンピュータプログラムは文学研究者のすることをなぞるだけでなく、その認識を変革しうる。
- ④つまり、コンピュータプログラムは文学研究者のおこなっている研究を根本から否定し、それを無力化する。

【問題三】 次の文章をよく読み、後の各問に答えなさい。解答は全て解答题紙の解答欄に記入すること。（配点24点）

水ぬるむ季節である。冷水と格闘する辛（つら）く厳しい冬が終わったことを豆腐屋はこう詠んだ。〈けさよりは我が指刺さぬ缶の水春の豆腐と思ひあきなう〉。のちに作家になる松下竜一である。『豆腐屋の四季』には生業に根ざす△A△V感がにじむ▼春はやさしいだけでなく、苦みもあった。鍋物の△A△Vが終わるからだろうか、春は豆腐の売れ行きが落ちたという。〈春嵐砂捲く幾日か豆腐売れず寂しくて満つる海を見に来つ〉▼春△B△Vがきのう、関東や北陸、四国などで吹いた。うれしい響きの言葉ではあるものの、あまりの強風に閉口した方もおられよう。冬のないだに縮こまった体を揺り起こそうとする目覚まし時計のようである▼職場から浜離宮恩賜（おんし）庭園に歩いてみると、菜の花の鮮やかな黄色が風に揺れていた。△C△V式に備えてか、晴れ晴れしい和装で撮影するカップルの姿もあった。風景を春色に染める菜の花は、葉と一緒につぼみや花も味わえる花菜でもある。何ともいえない苦みがいい▼「春は苦味（にがみ）を盛れ」の言葉がある。菜の花だけでなく、ふきのとうや筍（たけのこ）、ウドなどの春野菜である。冬の寒さに耐えて育まれた味わいが活力を与えてくれる気がする。暦を見ると、きょうは二十四△D△Vの雨水（うすい）である。雪が雨になり、溶けた雪が土を潤すときだ▼春を前に入学や就職に胸をふくらませる方もいるだろう。新△E△Vにはたくさんの楽しさや刺激とともに、きつと苦みもある。春の野菜のように未来の力になる味わいもあるはずだ。

問一 本文中の△A△V△E△Vに入る最も適切な語句を答えなさい。全て漢字2字で答えること。なお、同じ記号が2箇所ある場合には同じ語句が入る。

問二 本文のタイトルとしてふさわしいものはどれか。次の選択肢の中から最も適切なものを1つ選び、番号で答えなさい。

- ①豆腐屋の四季
- ②春は苦みを盛れ
- ③水ぬるむ季節
- ④未来の力

（平成二九年二月一八日付朝日新聞、『天声人語』による）